

## I 本校の学校課題

<平成25年度 学校経営の概要より>

校訓 日新「日に新たに」

### 1 学校教育目標

「日々に新たな心で、真理を求め、自ら考え、正しく判断し、進んで行動する生徒の育成」

目指す生徒像：「心身共にバイタリティのある生徒」

- (1) 自ら学び、自ら考え、主体的に行動できる生徒の育成
- (2) 自らを律し、他人を思いやる豊かな心をもつ生徒の育成
- (3) たくましく生きるための健やかな身体をもつ生徒の育成

### 2 学校経営の基本方針

- (1) 将来の夢を育み、明るく生き生きとした学校生活を保障する教育の推進
- (2) 生徒の「豊かな心・しなやかな心」を育み、「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身につけさせる教育の推進
- (3) 地域に信頼される学校づくりの推進
- (4) 教職員一人ひとりの力量の向上と学校組織の活性化
- (5) 教育環境の整備・充実

### 3 学校教育目標具現化に向けた中期的学校経営方針（詳細は省略）

- (1) 全ての生徒に「生きる力」を育む適切な教育課程の編成と実施に努める
- (2) 「自己教育力」の基盤が培われるよう、「確かな学力」を保障する指導と評価に努める
- (3) 集団におけるより良い人間関係の確立を図り、主体的な学習態度の育成に努める
- (4) 全教育活動をとおして人間としてより良く生きようとする自己肯定感を育み、心豊かな生徒の育成に努める
- (5) 健康・安全教育の充実を図り、道徳的実践力を育成する道徳教育の充実に努める
- (6) 家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進に努める
- (7) 教職員の資質・向上を図り、全教職員の英知が結集された「学校力」の構築を目指す
- (8) 施設・設備を整え、安全・安心な教育環境の充実を目指す

### 4 今年度の具体的努力点と重点目標（詳細は省略）

- (1) 「生きる力」の育成を目指した、知・徳・体の調和ある教育課程の編成と実施
- (2) 生きて働く確かな学力の育成
- (3) 「豊かな心・しなやかな心」を育み、生徒の自己肯定感の育成を目指した指導の充実
- (4) 健康でたくましい体の育成
- (5) 家庭・地域に信頼される学校づくりの推進

### (1) 地域の概要

本学区は、都市的性格の強い加納岩地区と農業的性格の強い山梨地区・日川地区の三地区から成り立っている。また、近年は他学区からの生徒も多数いる。保護者の職業は、会社員・公務員などが多く、かつては多数を占めた専業農家は2割程度へと減少している。日川地区・山梨地区での農業は、ぶどうや桃などの果樹栽培が中心で、ビニールハウス栽培なども盛んである。また、国道沿いの立地条件を生かした観光ぶどう園も多い。

こうした中、地域の教育に対する関心は高く、学校教育に対しても期待をもちながら、理解と協力を惜しまない。また、PTA活動も活発で、関連行事への参加率も極めて高い。しかし、地域外に勤務する父母の増加は、他の地区との人的交流を活発にする反面、住居地における住民のまとまりや地域で子供を育てるといった面で難しい問題も抱えており、地域や家庭における教育の充実が一層望まれる。

### (2) 本校の生徒の実態から

挨拶ができ、素直な生徒が多い。学習面において、意欲的な生徒が多いが、思考力・判断力・表現力・問題解決能力について十分に発揮できていない面がある。一方、学習活動の基盤となる基本的な生活習慣等や、基礎学力が身につけていない等の課題が見られる。

### (3) 昨年度の校内研究の反省から

- ・QU アンケートをもとにして、授業改善を行っていく。
- ・少しでもスキルを高められるように、皆で学び合う。
- ・基本的に今年度と同じ方向で。(2)
- ・確かな学力を育む指導は、大きな課題であり、基本的にはこの方向の研究内容でよいと思うが、研究内容をより具体的にしていくなかで、日常の教育実践への結びつきをより深めていく必要がある。
- 研究主題・副主題の反省や校内研究の実践の成果・課題から、基本的に今年度の方向で来年度も校内研究を進めてはどうか。

加えて

- ・全体研究、教科、学年の研究会を年間の中でしっかり位置づける
- ・QU アンケートをもとにした、授業改善
- ・スキルの向上のための学習会
- ・研究授業は各学年1つずつ提供してもらおう(1つは道徳か学活)
- ・生活習慣アンケートの実施
- ・自学の時間の取り組み
- ・公開授業は取りやめて、いつでも見ることはできるという確認

## II 本年度の研究主題・研究内容について

### (1) 研究主題・副研究主題

研究主題（研究の目的と内容）

#### 「豊かな心で未来に向かって生きる生徒の育成」

副研究主題（研究の手だて）

#### ～しなやかな心を育成する道徳教育の充実～

### (2) 主題設定の理由

2年前の東日本大震災に際しては、被災地の子どもたち、特に多くの中学生が、自分の命を守り抜いただけでなく、地域の避難所運営の手伝いや清掃などのボランティア活動に進んで取り組むなど、様々な困難を乗り越え、大きな力を発揮しました。こうした力こそ、新学習指導要領の目指す「生きる力」にはかならず、多様な人々との関わりや様々な経験を重ねていく中でこそ豊かに育まれるものだと思います。

県教育委員会では、平成24年度より「しなやかな心の育成プロジェクト」を実施し、学校、家庭、地域が一体となった道徳教育を推進しています。自分や他人の生き方・存在を認め合い自他を敬愛するしなやかな心を育む取り組みが各学校において進められている最中です。このような「しなやかな心」を育成させることこそ、先述した東日本大震災の子どもたちのように、困難や挫折に直面しても、粘り強く最後まで諦めない子どもを育むことに直結していくことと思います。

新学習指導要領には道徳の目標について「学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。」とあります。道徳性を養うためには、要となる道徳の授業で「道徳的実践力（実践できるための内面）」を育み、各教科や総合学習、日常の生活指導などを通して「道徳的実践力」を育むことができるのだと思います。このようなことから、道徳性の育成は週1回の50分の道徳の時間では十分とは言えないと考えます。各教育活動での道徳教育が、その特質に応じて効果的に推進され、相互に関連が図られる必要があると思います。また、道徳の時間において、各教育活動での道徳教育が調和的に生かされ、道徳の時間としての特質が押さえられた学習が計画的、発展的に行われることによって、生徒の道徳性は一層育まれていくことになるはずです。これらのことから、本校の生徒の道徳性をより身につけさせるために、道徳の時間を要としながら、各教育活動との関連を図ること、家庭や地域社会との相互理解と連携を推進することの研究を行うことと考えました。

### (3) 研究内容

#### ①研究部会

##### ○教科研究部会

- ・生きる力を育むために必要な思考力・判断力・表現力を養い、確かな学力を育成する授業づくりの研究。
- ・道徳教育と各教科の目標、内容及び教材を関連付けた授業研究

##### ○道徳教育部会

##### 第1分科会「授業研究」

- ・道徳の時間の授業改善、教材の開発などを研究

##### 第2分科会「学校生活」

- ・授業以外の学校生活の中での道徳教育について研究
- ・生徒に道徳的価値を意識させる環境づくりの研究

- ・ 道徳教育と各月の生活目標を関連付けた授業研究 など

### 第3分科会「家庭・地域との連携」

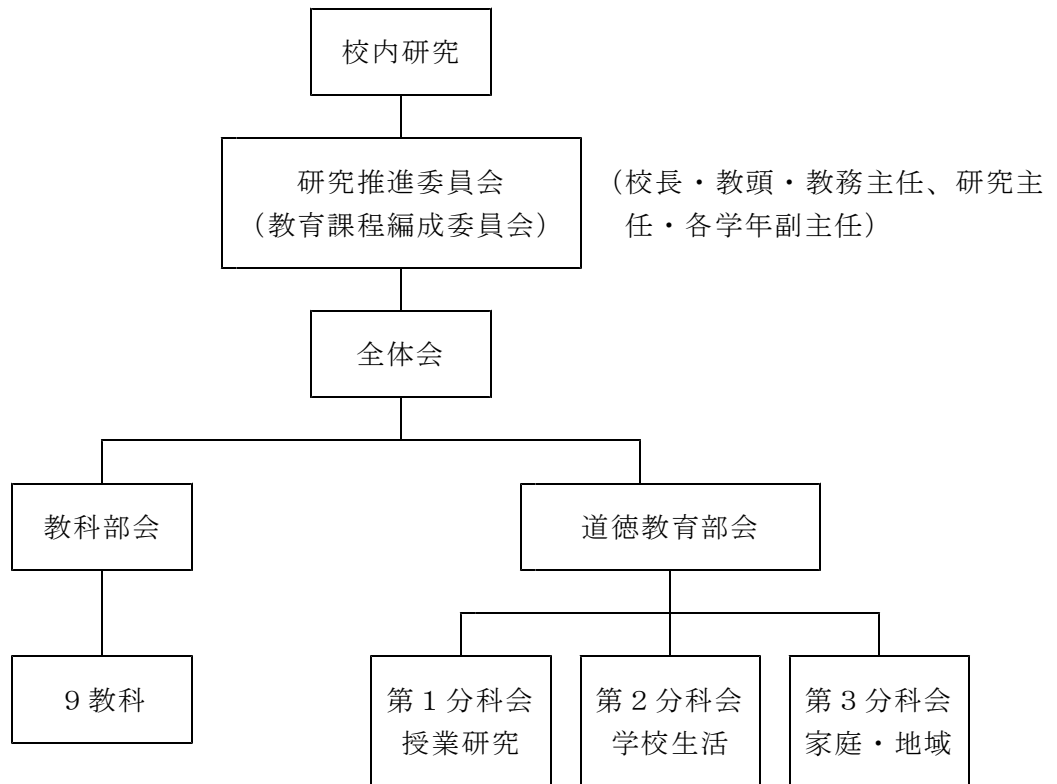
- ・ 家庭・地域の方の参加による授業研究（道徳授業地区公開講座）
- ・ 学校・家庭・地域が一体となって行う道徳教育の発信方法の研究 など

### ②生徒の実態を把握するアンケートの実施

学校における道徳教育の充実を図れるよう、学級・学年全体、ならびに生徒一人ひとりの道徳性の実態や傾向を客観的に把握するために実施したい。

「HUMANⅢ」（新道徳性検査）がいいが450円かかる。予算的に…

## （4）研究組織



### ※分科会名簿

研究推進委員で協議し、名前を入れさせていただきました。第1分科会には、授業に関わるので担任の先生を中心に入ってもらいました。第2分科会は、学校生活に係わるので生徒指導と生徒会関係を中心に入ってもらいました。第3分科会には、外部との連携があるので教務と学年主任を中心に入ってもらいました。尚、各分科会の責任者をそれぞれの研究内容を考え、○がついた先生にお願いしたいと思います。

第1分科会 ○加藤紀子(1) 小林紀子(1) 原谷真仁(1) 宮川啓一郎(1)

広瀬康子(1) 水上かおり(2) 篠原大志(2) 小高鉄平(2) 長嶋明美(3)  
筒井修子(3) 齋藤和裕(3) 名取政也(3)

第2分科会 ○窪田勇治(教務) 小野明子(教務) 原ゆほ(教務) 三井保(1) 桐原洋(1)

海沼春彦(2) 田草川富夫(2) 古屋奈穂子(2) 坂本伸也(3) 鶴田誠司(3)

第3分科会 学校長 教頭 渡辺良仁(教務) 小林ますみ(教務) 後藤遥果(教務)

小林美和子(教務) ○清水岳人(1) 矢澤恵美子(2) 金井毅(3)  
切金理恵子(3)

## (5) 年間計画

月	日	曜	教協関係	校内研究	備考
4	23	水		校内研究①	全体会
5	1	水		校内研究②	全体会 分科会
	8	水	教育研究① 教協総会		
	15	水	教育研究②		
	22	水		校内研究③	分科会
	29	水		校内研究④	分科会
6	5	水	教育研究③		
	26	水		校内研究⑤	分科会
7	3	水		校内研究⑥	全体会 (分科会の中間報告)
8	2	金	ブロック交流①		
	5	水	教育研究④		
	21	水		校内研究⑦	校内研修
	30	金	教育研究⑤ 統一授業研		
9	25	水		校内研究⑧	研究授業 1 授業案検討
10	2	水	教育研究⑥ 秋季教研		
	11	水		校内研究⑨	研究授業 1 (3年)
	23	水		校内研究⑩	研究授業 2 授業案検討
	30	水		校内研究⑪	研究授業 2 (3年)
11	13	水	ブロック交流②		
	27	水	教育研究⑦		
12	4	水		校内研究⑫	公開に向けての授業案検討
	11	水		校内研究⑬	公開に向けての授業案検討
1	15	水	教育研究⑧		
	22	水	ブロック交流③		公開? (できたら火木でお願いしたと のことでしたが・・・)
2	5	水	教育研究⑨ 統一授業研		
	12	水	教育研究⑩ 冬季教研		
	19	水		校内研究⑭	全体
	26	水		校内研究⑮	全体
3	19	水		校内研究⑯	全体